

平成30年度
社会福祉法人天童市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人天童市社会福祉協議会

～ 共にささえあい 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち ～

<http://www.tendo-shakyo.or.jp>

総 括

現在の社会情勢は、少子・高齢化の進行や人間関係の希薄化などにより、人々が直面する生活課題や福祉課題が多様化しています。

社会福祉協議会は、地域住民をはじめ、市民生委員・児童委員や福祉行政関係者など、幅広い人びとにより構成され、福祉に関わる広範囲な事業を実施し、住民の生活課題や福祉課題等、さまざまなニーズに対応するために、地域の実情を踏まえながら事業に取り組んでいます。

平成27年度に設置された市生活自立支援センターの運営については、平成30年度で4年目を迎え、生活困窮者からの相談に対応し、引き続き課題の分析やニーズの把握、自立支援計画の策定を行い、住居確保給付金や福祉の制度等を活用した支援を行いました。

また、本年度は新規事業として市からの委託を受け、多機関の協働による包括的支援事業を実施し、介護や障がい、育児、生活困窮など、複合的な問題を抱えた方への支援ができるよう関係機関と調整を行い、相談者に合わせた支援を展開しました。

介護予防の推進と市地域包括支援センターについては、地域包括支援センター相互の連絡調整を密に行い、主任介護支援専門員会議や介護サービス事業所連絡会を開催しながら、コーディネイト機能の充実を図りました。

介護保険事業所としては、健全経営に配慮しながら利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、障がい者へのサービスの強化により収益の向上を図りました。

ボランティア活動の育成については、災害発生時に備えるため、本会と公益社団法人天童青年会議所との間に、「災害ボランティアセンターの運営等に関する協定」を平成29年9月4日に締結し、人材の派遣や資器材等の調達を行うこと、災害ボランティアの育成やマニュアルの整備、情報共有を図ることを定めています。また、市防災訓練時には、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施するとともに、県内の災害発生時には要請に応じて職員の派遣を行いました。

法人組織の管理・運営については、社会福祉協議会だよりの定期的な発行やホームページ等により事業運営の透明性を図るとともに、各種会議を開催して法人組織の適正な管理、運営に努めました。

天童市総合福祉センターの適正な管理運営についても、指定管理者制度に基づき、適正な管理と市民が利用しやすい施設の環境づくりに努めました。

このように、平成30年度については、引き続き地域福祉を推進する中核組織としての重責を果たすために、地域社会福祉協議会や行政、地域住民、福祉事業者等との連携協力体制を強化しながら、『共にささえあい、安心して心豊かに暮らせる』福祉コミュニティの実現を目指して、本会の効率的な運営と積極的な事業を展開しました。

重点項目

1 生活困窮者自立相談支援事業及び多機関の協働による包括的支援体制構築事業の実施

平成27年度から施行された生活困窮者の自立促進や尊厳の確保、生活困窮者の支援を通じた地域づくりを目的とする「生活困窮者自立支援法」に基づき、自立相談支援事業の委託を受けて相談対応、課題の分析、ニーズの把握、自立支援計画の策定、住居確保給付金や諸制度を活用した支援を行いました。

生活困窮者の支援を通じ、福祉事務所や山形公共職業安定所、法テラス等の関係機関との連携や民生委員・児童委員等への周知活動に努めるとともに、新たに複合的な福祉ニーズを抱え、単一機関では支援が困難な世帯の相談を受け、関係機関のコーディネーターを図る多機関の協働による包括的支援体制構築事業に取り組みました。

2 地域包括ケアに係る地域づくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、介護保険や総合事業による介護予防支援及び地域カフェへ参加し連携を図るとともに市地域包括支援センターの周知とアンケートによるニーズ調査を行いました。

更に認知症にやさしい地域づくりの推進として、認知症サポーター養成講座の実施や市成年後見センターとの連携、いきいきサロン等におけるエンディングノートの周知に努めました。

3 介護保険事業所の適正経営

市居宅介護支援事業所及び市訪問介護サービス事業所とも、介護保険事業の実施主体としての誇りと責任を持ち、健全経営に配慮しながら、各種研修への参加などによるサービスの質の向上に努め、利用者の立場に立ったサービスの提供を行いました。

その中では、特に障がい者に係るサービスの充実強化に努め、併せて収益の向上を図りました。

4 指定管理者制度対象施設の管理・経営

屋内運動広場ステージランプや冷却塔ファンモータ、冷温水発生機等を修理するなど、良好な設備環境による適切な管理・経営に努めながら、利用者の要望に沿うとともに、経費節減に基づく効率的な運営を旨として、市総合福祉センターの管理運営を行いました。

5 社会福祉法人制度改革への対応と経営改善に向けた取り組み

経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上のため、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

また、新規事業の受託や経費の節減等を行いながら、経営改善に努めました。

事業概要

1 地域福祉事業・ボランティア活動の推進

(1) 地域福祉ネットワーク活動

ア 地域社会福祉協議会の支援・充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあう「福祉コミュニティー」を実現することを目的とした地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

地域社会福祉協議会会議（3回）での情報交換や協議、地域社会福祉協議会の総会や行事等への参加、社会福祉協議会費や共同募金集金の協力、歳末たすけあい配分委員会への協力等、活動全般に協力しました。

1 地域社会福祉協議会会議議題

(1) 6月1日

- ア 平成30年度各種助成金・配分金等の交付予定について
- イ 地域社会福祉協議会運営助成金
- ウ 福祉推進員活動促進費
- エ いきいきサロン助成金
- オ 地域カフェ推進事業助成金
- カ 子育てサロン助成金
- キ 地域福祉・在宅福祉配分金
- ク 市福祉推進員の委嘱について
- ケ 家屋補修事業
- コ 社会福祉功労者表彰
- サ 災害ボランティアセンター設置運営訓練
- シ 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり」（福祉のまちづくり講演会）
- ス さわやか健康教室について
- セ 社会福祉協議会費、日本赤十字社会費の集金事務、手数料交付予定について
- ソ 平成30年度地域社会福祉協議会会議の開催予定について

(2) 9月3日

- ア 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費の集金実績及び手数料の交付について
- イ 共同募金戸別募金助成金の交付申請手続について
- ウ 山形県共同募金会地域福祉・在宅福祉配分金の申請手続について
- エ 社会福祉功労者表彰健康福祉まつり講演会、災害ボランティアセンター設置訓練、県民福祉大会、成年後見研修会の開催予定
- オ 赤い羽根共同募金一般募金及び歳末たすけあい募金の戸別募金集金事務について
- カ 赤い羽根共同募金一般募金及び歳末たすけあい募金の配分について
- キ 天童市地域福祉計画について

ク 市成年後見センター及び法人後見業務について

(3) 2月4日

ア 赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい運動の実績報告について

イ 日本赤十字社会費手数料の交付について

ウ 共同募金戸別募金助成金の交付について

エ 市福祉推進員の辞任者確認及び後任者の委嘱作業について

オ 市地域包括支援センター・市生活自立支援センター・市多機関協働支援センターの近況について

カ 平成31年度地域社会福祉協議会関係助成金、配分金、手数料等の見込みについて

キ 地域福祉活動計画の策定予定について

2 地域社会福祉協議会の共通活動

(1) 市福祉推進員活動の支援

(2) いきいきサロン活動・地域カフェ推進事業・子育てサロン

(3) 共同募金・歳末たすけあい運動の協力

(4) 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費集金協力

(5) 福祉活動の啓発・情報提供

(6) 福祉関係機関との連絡・調整

3 地域社会福祉協議会の自主活動（抜粋）

高齢者いきいき講座、子育て支援講座、除雪ボランティア、役員・事務局・理事研修会、住民福祉研修会、広報誌発行、高齢者の集い、介護者の集い、手作り弁当宅配、小学生の福祉体験学習他

イ 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や市民生委員・児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う市福祉推進員の改選年度にあたり、市内に329名の方を委嘱して活動を支援しました。

また、市福祉推進員の情報交換や研修を担う市内13地域の「福祉推進員連絡会」では各地域社会福祉協議会と連携して研修活動、地域福祉事業を実践しました。

1 市福祉推進員委嘱状況 329名（昨年度335名）

天童南部47名、天童中部76名、天童北部37名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山24名、田麦野2名、山口18名、高嶺22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名

2 市福祉推進員の共通活動

(1) 見守り、声かけ、話し相手に関すること

(2) 安否の確認、緊急時の連絡等に関すること

(3) たすけあい、ささえあいの機運づくり等に関すること

(4) 地域福祉事業等への参加・協力に関すること

(5) その他地域福祉の推進に関すること

3 各地域福祉推進員連絡会の活動（抜粋）

市地域包括支援センター・市生活自立支援センター・行政職員による研修会、

認知症サポーター養成講座、介護保険施設・障がいサービス事業所・子育て支援施設・他社会福祉協議会の視察研修、自治会長、市民生委員・児童委員との意見交換、地域社会福祉協議会事業への参加・協力

ウ 「いきいきサロン」事業の普及・充実

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や市民生委員・児童委員、市福祉推進員等の支援を得て、60ヶ所で運営を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

また、市社会福祉協議会事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

1 いきいきサロン開設状況 60ヶ所（昨年度59ヶ所）

(1) 町内会単位 55ヶ所（昨年度54ヶ所）

三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区、久野本東3.4区、久野本東7区、久野本東9区、久野本東10区、久野本東12.13区、久野本東16区、久野本会、糠塚、柏木、泉町、東本町、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目、北久野本5丁目、天童原、大清水、大町、西交り江、今町、向原、成生、小関、高木、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、道満、金谷、高揃北、清池、楯之内、にれの木団地、高揃1.2、石倉、上荻野戸、原町、八千代台

(2) 市立公民館単位 5ヶ所（昨年度5ヶ所）

寺津、田麦野、長岡（2ヶ所）、荒谷

2 一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン 60ヶ所（昨年度59ヶ所）

3 各いきいきサロン活動（抜粋）

(1) 健康づくり ロコトレ活動、健康指導、血圧測定、音楽療法、体操教室

(2) 趣味活動（専門ボランティア等の指導） 手芸、絵手紙、昔語り会、落語、交通安全講話

(3) 各種行事等 茶話会、会食交流会、花見、芋煮会、クリスマス、新年会等

(4) その他の事業 世代間交流、日帰りバス旅行、地域行事への参加

4 いきいきサロン活動への支援

(1) いきいきサロン連絡会議の開催

ア 日時 3月1日

イ 内容 「地域カフェ推進事業の実施発表」「Tendo すこやか My 進事業の概要説明・健康体操の実技指導」等

(2) 各種講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）

(3) 開設・運営の打ち合せ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）

(4) 自治会、市民生委員・児童委員、市福祉推進員に対する啓発・資料発送（1月）

エ 地域カフェ推進事業の実施

平成29年10月より、市の委託を受けて、介護保険総合事業の地域介護予防活動支援事業の枠組みにより、各地域に高齢者を中心とする集いの場を設け、交流及び介護予防の機会を提供する「地域カフェ推進事業」を実施しました。

地区（市立公民館区域）を拠点に、月1回以上の集いの場を開催、地区外の高齢者の参加も可能とすることで、町内会での開催を中心とした「いきいきサロン」事業との相乗効果を図りました。

1 地域カフェ推進事業開設地域と主な内容 11ヶ所（昨年度6ヶ所）

- (1) 田麦野「すみれ会」（スリッパ卓球、茶話会）
- (2) 寺津「うたごえ喫茶」（懐メロを歌う、茶話会）
- (3) 蔵増「蔵」（喫茶、健康体操）
- (4) 天童中部「くらつ川」（歌唱、軽体操、喫茶）
- (5) 天童北部「いるばある」（喫茶、歌唱、軽体操）
- (6) 山口「お茶のみ処」（喫茶、歌唱）
- (7) 高揃「こっ茶来い」（喫茶、軽体操、講話）
- (8) 天童南部「ふれあい南部茶屋」（喫茶）
- (9) 老野森「たんときてけろ」（喫茶、軽体操）
- (10) 糠塚「さくらカフェ」（喫茶、軽体操）
- (11) 上貫津「龍神の里カフェ」（喫茶、歌唱）

2 地域カフェ推進事業への支援活動

- (1) 開設時準備作業への協力（打合せへの参加他）
- (2) 開設日時の市報掲載への協力
- (3) 保険加入支援・講師等の紹介
- (4) 情報交換会の開催（11月7日）

オ 子育て支援事業の実施

市母子寡婦福祉連合会や地域社会福祉協議会の子育てサロンと協力しながら、親子の集いや子どもたちの遊びの場づくり、親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

1 市母子寡婦福祉連合会共催事業

(1) 親と子のクリスマスパーティー

ア 日時 12月9日

イ 内容 バイクング昼食会、ゲーム、ケーキ作り

ウ 参加者 62名

(ア) 子ども 23名

(イ) ボランティア 8名

(ウ) その他 31名

(2) ままカフェ交流会

ア 日時 10月14日・1月20日

イ 内容 芋煮会、茶話会

ウ 参加者 54名

(ア) 子ども 19名

- (イ) ボランティア 3名
- (ウ) その他 32名
- 2 子育て支援活動への助成
 - (1) 「長岡地域社会福祉協議会子育てサロンりんごっこ」への助成
 - ア 日時 毎月第2、第4木曜日開催（年間24回）
 - イ 内容 読み聞かせ、季節行事、遠足、お誕生日会等
 - (2) 「高掬地域社会福祉協議会おひさま」への助成
 - ア 回数 毎月1回水曜日開催（5月～1月）
 - イ 内容 読み聞かせ、お誕生日会、親子体操、子どもの食事の話等
- 3 子どもの学習支援教室

市在住の小中学生に対する学習支援を目的に、県退職公務員連盟東村山支部と共催して、学習支援教室を開催しました。

 - (1) 夏休み学習支援教室（市在住で学習に不安がある児童対象）
 - ア 7月30日 42名
 - イ 8月17日 9名
 - (2) 冬休み学習支援教室（市在住で学習に不安がある児童対象）
 - ア 日時 12月26日
 - イ 参加児童 29名

(2) 社会福祉啓発と福祉人材の育成

ア 社会福祉協議会だより発行

本会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域話題を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。

- 1 社会福祉協議会だより（年4回発行）
 - (1) 配布先
 - ア 市内全世帯 約22,000世帯
 - イ 福祉関係施設等 県内約100施設
 - (2) 内容
 - ア 169号（6月15日発行）

地域カフェ、事業計画・収支予算、市福祉推進員紹介、市多機関協働支援センター紹介、ささえあい相談所他
 - イ 170号（10月1日発行）

長岡地域ネットワーク会議、共同募金・歳末たすけあい募金お願い、介護サービス事業所紹介、健康福祉まつり案内、市成年後見センター紹介他
 - ウ 171号（1月15日発行）

認知症サポーター養成講座、新年会長挨拶、福祉功労者表彰紹介、ボランティア紹介・生活福祉資金案内、市地域包括支援センター案内他
 - エ 172号（3月15日発行）

社会福祉法人情報交換会、共同募金実績報告、市生活自立支援センター案内、地域カフェ推進事業案内、同好クラブ案内他

- 2 社会福祉協議会会費集金用チラシ（7月発行）
 - (1) 配布先 市内全世帯 約22,000世帯
 - (2) 内容 事業内容、予算及び決算状況

イ 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2018」の企画・開催

福祉や医療の関係団体、市、本会職員による事務局会議を開催して、企画立案を行い、市健康センター及び市総合福祉センターを会場に市民の健康と福祉の祭典にふさわしい、誰もが楽しく参加できる多様なコーナーを開設しました。

- 1 日時 10月6日（土） 4日（木）～5日（金）は文化祭のみ開催
- 2 会場 市総合福祉センター・市健康センター
- 3 内容
 - (1) 市総合福祉センター会場
開会式（社会福祉功労者表彰）及び福祉のまちづくり講演会、マッサージ体験、縁日広場、文化祭、福祉団体・ボランティア紹介コーナー（地域福祉部紹介コーナー）、あったかフェテンドウ
ア 講演 演題「地域支え合いのすすめ」
イ 講師 全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田昌弘氏
 - (2) 市健康センター会場
ヘルスチェックコーナー及び薬の相談コーナー、ピンクリボンスリースマイル運動コーナー、食生活改善コーナー、子どもの遊びの広場
- 4 参加人数（市総合福祉センター会場） 延1,078名（昨年度延1,050名）

ウ 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を経て、健康福祉まつり開会式の機会に表彰を行いました。

- 1 市社会福祉功労者表彰審査会 8月30日
- 2 市社会福祉功労者表彰期日 10月6日
- 3 社会福祉功労者表彰受賞者（敬称略）
 - (1) 個人 15名（昨年度4名）
金子文美恵 野村正博 中野繁之 中村洋子 荒木竹司 芳賀初子
仲野徳子 安喰洋子 安喰千代子 伊藤 孝 荒澤博子 奥山金十郎
森谷源輝 奥山泰子 奥山吉徳
 - (2) 団体 3団体（昨年度3団体）
ガールスカウト山形県第2団 高揃お茶の会 民謡と三味線・尺八のかかし

エ ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録、派遣を行いました。また、広報誌に掲載し、講

座の周知や講師の人材発掘に努めました。

- | | | | |
|-----|------|--|---------------|
| 1 | 登録講師 | 個人・団体 | 35講師（昨年度34講師） |
| 2 | 内容 | 健康講話、音楽療法、点字・手話指導、折り紙、絵手紙、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、楽器演奏、なつめろ、編み物、パソコン、ツボ講座 | |
| 3 | 派遣実績 | | |
| (1) | 件数 | 60件（昨年度47件） | |
| (2) | 派遣場所 | いきいきサロン、地域社会福祉協議会、小学校、市老人クラブ
連合会等 | |

オ 福祉のこころ実践校事業の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。

- | | | |
|-----|-----------------------------|---|
| 1 | 福祉のこころ実践校活動 | 8校（昨年度14校） |
| (1) | 学校名 | 天童南部小・天童中部小・寺津小・津山小・山口小・高揃小
長岡小・荒谷小 |
| (2) | 内容 | 地域の福祉施設での交流、高齢者・障がい者疑似体験、一人暮らし
高齢者の除雪活動、共同募金活動、地域行事のボランティア活動、高齢者等
との世代間交流 |
| 2 | 小学校及び中学校総合学習への対応 | |
| | 山形運輸支局主催の交通バリアフリー教室へ講師として協力 | |
| ア | 日時 | 10月3日 |
| イ | 場所 | 天童駅 |
| ウ | 対象 | 市立津山小学校5年生 18名 |

カ 地域福祉活動計画の策定

天童市の行政計画である「地域福祉計画」、厚生労働省による「地域共生社会の実現に向けて（当面の改革工程）」及び全国社会福祉協議会「社協・生活支援活動強化方針」～地域共生社会の実現に向けた事業・活動の展開～等、本会活動計画の指針となる各種施策、計画の確認作業を行い、平成31年度計画策定の準備にあたりました。

(3) ボランティア活動の育成

ア ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、ボランティア講習会の開催や社会福祉協議会だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。

- | | | |
|-----|----------|-------------|
| 1 | ボランティア登録 | |
| (1) | 個人 | 11名（昨年度11名） |

(2) 団体	51団体	(昨年度54団体)
2	ボランティア相談対応	
(1)	周知及び活動依頼（ボランティアの紹介・参加協力依頼）	10件
(2)	活動希望（活動先の紹介）	6件
(3)	ボランティア団体への支援	
(4)	ボランティア団体活動費助成事業の実施	4件
(5)	ボランティア室の設置、ロッカー貸出	
3	市民へのボランティア活動周知及び啓発 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2018」ボランティアコーナーへ12団体参加	

イ 介護ボランティア支援事業の実施

本格的な高齢社会を迎える中、高齢者が取り組む介護ボランティア活動にポイント制を導入することにより、より多くの高齢者にボランティア活動を実践していただき、高齢者の地域貢献や社会参加の促進、健康の保持、介護予防を図りました。

1	登録福祉施設 16ヶ所（昨年度16ヶ所）	
(1)	特別養護老人ホーム明幸園	
(2)	特別養護老人ホーム清幸園	
(3)	特別養護老人ホームあこがれ	
(4)	介護老人保健施設あこがれ	
(5)	介護老人保健施設ラ・フォーレ天童	
(6)	通所介護事業所つるかめ、となりのつるかめ	
(7)	通所介護事業所 認知症対応型共同生活介護サポートハウスふぁみりー	
(8)	通所介護事業所くわのまちデイサービス	
(9)	認知症対応型共同生活介護ハートステーション西原	
(10)	介護付有料老人ホームソーレ天童	
(11)	特別養護老人ホームさくらホーム天童	
(12)	地域密着型特別養護老人ホームきらめきの里	
(13)	グループホーム ライフステーション寺津	
(14)	小規模多機能いこいのつるかめ	
(15)	認知症対応型共同生活介護グループホームつるかめ	
(16)	通所介護事業所福祉のひろば	
2	活動登録者 26名（昨年度29名）	
(1)	男性	18名
(2)	女性	8名
3	活動内容 話し相手、相談相手、趣味活動指導、園芸活動、演芸披露	

ウ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成23年度に作成した災害ボランティアセンター設置マニュアルをもとに、行政や県社会福祉協議会、地域社会福祉協議会、天童青年会議所、NPO等と協力して、有事に備えて災害ボランティアセンター立上げまでの協議やボランティア活動支援の訓練を実施しました。

また、8月5日からの大雨により、戸沢村では12棟の床上浸水及び145棟の

床下浸水被害があったため、本会では4日間にわたり4名の職員を派遣し、戸沢村災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。

1 災害ボランティアセンター設置訓練

(1) 事前打合

ア 期日 9月20日

イ 参加者 10名

公益社団法人天童青年会議所、特定非営利法人ふれあい天童、隊友ボランティア、干布地域社会福祉協議会、市危機管理室、県社会福祉協議会

(2) 実施訓練

ア 期日 10月21日（市総合防災訓練において実施）

イ 場所 市立干布小学校グラウンド

ウ 訓練内容

(ア) 設置訓練

a 本部からの情報収集・伝達

b マニュアルや被害想定を基に組織編成、人員配置等を検討

c 災害ボランティアセンターの立上げ

(イ) ボランティアオリエンテーション

a 災害ボランティアセンターとは

b ボランティアの心得について

(ウ) 運営訓練

a 受付班

b マッチング班

c 報告受付班

d ニーズ班

(エ) 災害ボランティアセンターの周知訓練

エ 参加協力者 32名（昨年度33名）

公益社団法人天童青年会議所、特定非営利法人ふれあい天童、隊友ボランティア、干布地域社会福祉協議会、市危機管理室、県社会福祉協議会、市長公室まちづくり推進係、市社会福祉課調整係、県立天童高等学校

2 戸沢村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣期日・人数

ア 8月13日 1名

イ 8月14日 1名

ウ 8月18日 1名

エ 8月19日 1名

2 生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施

(1) 天童市生活自立支援センター（生活困窮者自立相談支援事業所）の運営

平成27年度から、生活困窮者の自立促進や尊厳の確保、生活困窮者の支援を通じた地域づくりを目的とする「生活困窮者自立支援法」が施行されました。本会は法に

定められた必須事業である自立相談支援事業の委託を受けて、生活困窮者の相談対応、課題の評価・分析、ニーズの把握、自立支援計画の策定、住居確保給付金や諸福祉制度を活用した支援にあたりました。

さらに生活困窮者支援を通じた市福祉事務所や山形公共職業安定所、法テラス等の関係機関と連携を強化する運営会議の開催や市民生委員・児童委員等の福祉関係者のネットワークを構築する周知活動に努めました。

1 自立相談支援事業

(1) 新規相談件数 123件（昨年度122件）

(2) プラン作成数 9件（昨年度16件）

(3) 相談者

本人、市社会福祉課、市保険給付課健康課、市民相談室、市民生委員・児童委員、他市町村生活自立支援センター、家族・親族、市地域包括支援センター、医療機関、相談支援専門員、上司、地域社会福祉協議会、ひとり親家庭応援センター、知人の友人、市営住宅管理センター、介護支援専門員

(4) 相談内容（複数該当）

ア 収入・生活費のこと 74件（昨年度90件）

イ 病気や健康、障害のこと 32件（昨年度67件）

ウ 家賃やローンの支払のこと 30件（昨年度45件）

エ 仕事探し、就職について 28件（昨年度49件）

オ 税金や公共料金等の支払について 28件（昨年度49件）

カ 住まいについて 26件（昨年度39件）

キ 家族との関係について 21件（昨年度35件）

(5) 支援実績

ア 電話相談・連絡 564件（昨年度270件）

イ 他機関との連絡調整 420件（昨年度305件）

ウ 面談 292件（昨年度258件）

エ 訪問・同行支援 162件（昨年度61件）

(6) 支援調整会議

プラン作成時、再プラン作成時、終結の判断時やプラン中断の決定時に開催し、プランの適切性の協議、支援提供者によるプランの共有、プランの終結時等の評価や社会資源の状況の把握と創出に向けた検討を行いました。

ア 開催回数 9回（昨年度7回）

イ 開催期日 5月31日・6月26日・8月1日・8月31日
9月21日・10月24日・12月7日・1月31日
3月29日

(7) 運営会議

各関係機関との連携をはかるため、生活困窮者自立支援法や制度概要、市生活自立支援センターの運営実績について説明し、生活困窮者支援に関する情報交換や今後の連携のあり方、必要な施策の意見交換を行いました。

ア 開催日時 2月20日

イ 参集者 13名（昨年度13名）

山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、市学童保

育連絡協議会、地域生活支援センター天花、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

2 住居確保給付金

- (1) 相談件数 7件（昨年度13件）
- (2) 申請件数 1件（昨年度3件）
- (3) 決定件数 1件（昨年度3件）

(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業の実施

平成30年度より、市から委託を受けて、モデル事業である「多機関の協働による包括的支援事業」を実施し、介護や障がい、育児、貧困等の複合的な問題を抱え、単一の機関では支援が困難なケースの相談や困りごとを抱えながらも、どこに相談したらよいか分からないといった制度の狭間の問題を抱えるケースの相談を受け、関係機関のコーディネートを行い、複雑化した課題の解決に努めました。

また、各分野の関係機関を参集する運営会議（相談支援包括化推進会議）の開催や民生委員・児童委員、市内関係機関等への周知活動を通し、相談支援のネットワーク構築に努めました。

1 相談件数 69件

- (1) 複合的問題に関する相談 57件

（例）多額の負債と子育ての問題等を抱える世帯の相談や高齢者の虐待と孫の発達障がい等の問題を抱える世帯からの相談等

- (2) 制度の狭間に関する相談（問題を抱えているものの、どこに相談すればよいか分からず困っている） 12件

（例）生活の不安を抱えているが既存の制度に該当せず、支援を受けることができずに困っている世帯や消費者被害と日常生活に不安を抱える身寄りのない方からの相談等

2 支援実績

- (1) 電話相談・連絡 345件
- (2) 訪問及び同行支援 147件
- (3) 面談 156件
- (4) 他機関との連絡・調整 491件
- (5) ケース会議（支援調整会議含む） 31件

3 相談支援のネットワーク構築に関する活動

運営会議（相談支援包括化推進会議）の開催

ア 期日 2月20日

イ 参集者 13名

山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、市学童保育連絡協議会、地域生活支援センター天花、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介

護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

4 周知活動

成生地域福祉推進員連絡会（4月20日）、市福祉推進員新任者研修（6月4日）、市民生委員・児童委員全員対象研修会（7月30日）、地域社会福祉協議会連絡会議（2月4日）、社会福祉法人情報交換会（2月8日）、市民生児童委員連絡協議会高齢者部会（3月1日）、津山地域福祉推進員担当者会議（3月29日）

(3) その他の相談援助事業の実施

ア 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方、日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関や他制度と調整しながら、金銭管理や通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

- 1 利用者 18名（昨年度18名）
 - (1) 高齢者 9名（昨年度9名）
 - (2) 知的障がい者 2名（昨年度2名）
 - (3) 精神障がい者 7名（昨年度7名）
- 2 サービス提供件数（生活支援員4名、専門員2名で対応） 179回（昨年度188回）
- 3 援助（専門員2名で対応） 517回（昨年度507回）
- 4 新規相談 20件（昨年度18件）
- 5 支援内容 通帳等預かりや生活費の払出、金銭等に関わる相談支援、福祉サービス利用料等の支払い、口座振替等の手続

イ 成年後見センター事業の実施

平成30年度より、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方に対して、本会が法人として成年後見人等に就任し、財産管理や身上監護を通して支援を行いました。

また、市から委託を受けて、成年後見制度の利用相談や必要に応じて本人及び親族の家庭裁判所に対する申立て手続の助言や指導の他、周知活動を実施しながら制度の利用促進に努めました。

- 1 法人後見事業
 - (1) 受任件数（認知症高齢者） 1件
 - (2) 運営委員会の実施（12月18日）

法人後見事業の適正な運営を図るため、法律関係者や医療関係者、福祉関係者、行政関係者、学識経験者で構成される運営委員会を設置し、会議を開催しました。
- 2 成年後見センター事業（成年後見制度に関する相談や家庭裁判所への申立て支援、普及啓発活動等）

- (1) 成年後見制度に関する相談支援 27件
 - ア 制度全般に関する相談 4件
 - イ 制度利用、申立てに関する相談 19件
 - ウ 法人後見受任に関する相談 4件
- (2) 成年後見制度の普及啓発に関する活動
 - 権利擁護・成年後見研修会の開催（12月4日）
 - (ア) 講師・内容 柴田社会福祉士事務所 代表 柴田邦昭氏
わかりやすい権利擁護と成年後見制度
 - (イ) 講師・内容 社会福祉法人山形市社会福祉協議会 主任 中川一将氏
山形市社会福祉協議会の市民後見人養成の取り組み
- (3) 周知活動
 - 市福祉推進員新任者研修（6月4日）、市民生委員・児童委員全員対象研修会（7月30日）

ウ 「生活福祉資金」「たすけあい資金」の貸付・償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に、市民生委員・児童委員や行政と連携しながら、生活費や修学費用等の貸付を行いました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、相談会の開催や自宅訪問により生活状況把握、償還指導を強化しました。

- 1 生活福祉資金
 - (1) 貸付状況
 - ア 相談 150件（昨年度137件）
 - イ 申請 10件（昨年度20件）
 - ウ 貸付 10件（昨年度20件）
 - (2) 償還状況
 - ア 償還完了 11件（昨年度12件）
 - イ 職権免除 1件（昨年度0件）
 - ウ 延貸付件数 181件（昨年度154件）
 - (ア) 償還開始前 41件（昨年度38件）
 - (イ) 順調開始（直近で滞納回数0～3回） 56件（昨年度50件）
 - (ウ) 滞納 84件（昨年度66件）
 - a 生活状況把握 78件（昨年度59件）
 - b 行方不明 6件（昨年度7件）
 - エ その他 市外転居により県社会福祉協議会取り扱い 0件（昨年度2件）
 - (3) 償還指導 対象49件（昨年度38件）
 - ア 償還面接相談会
 - (ア) 期日 2月14日
 - (イ) 件数 1件（昨年度1件）
 - イ 面接日変更 3件（昨年度7件）
 - ウ 訪問（平成31年4月に訪問予定） 24件（昨年度24件）
 - エ 電話 4件（昨年度6件）

2 たすけあい資金貸付状況

- (1) 貸付 6件 (昨年度21件)
- (2) 償還完了 6件 (昨年度21件)
- (3) 延貸付件数 6件 (昨年度21件)

エ ささえあい相談所の運営

法律・生活福祉・ボランティアの各種相談窓口を開設するとともに、市民からの多様な相談に対応できるよう、市民相談室他専門機関との連携を図り、機能の充実と周知を進めました。

- 1 法律（債務や金銭の貸借、離婚、相続、調停等） 49件（昨年度40件）
- 2 生活福祉（福祉資金や権利擁護、福祉制度等） 150件（昨年137件）
- 3 ボランティア（活動希望や派遣希望、派遣要請等） 16件（昨年度15件）

オ 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、県内に避難されている避難者の方々の安定した日常を確保するとともに、円滑な帰還や定住、生活再建を支援するため「避難者生活支援」事業に取り組みました。

県社会福祉協議会の委託を受け、2名の相談員が避難者の方々の地域での孤立防止及び社会参加の機会、仲間づくりを目的に、「訪問活動」「つどいの場づくり」を展開しました。また、帰還や定住、生活再建等に向けた情報収集、情報提供及び各種関係機関との連携をはかり生活再建を支援しました。

1 訪問活動実績

- (1) 訪問回数 177回 (昨年度358回)
- (2) 面接回数 84回 (昨年度191回)
- (3) 訪問対象世帯 22世帯 (昨年度29世帯)

2 避難者の集い（ちえっと寄れ茶）

- (1) 開催実績 4回 延31人 (昨年度5回 延52人)
 - ア 5月24日 11名
 - イ 9月13日 8名
 - ウ 1月24日 6名
 - エ 3月22日 6名
- (2) 内容 地元のお菓子と飲み物を用意してお茶会を楽しむ

3 共同作業や旅行を通じた仲間づくり

- (1) 開催実績 8回 延71名 (昨年度7回 延73名)
 - ア 4月19日 10名
 - イ 6月21日 10名
 - ウ 7月11日 11名
 - エ 8月10日 9名
 - オ 10月30日 12名
 - カ 11月26日 5名
 - キ 12月20日 7名

ク 2月21日 7名

- (2) 内容 ウェルシアで花見、まちの保健室 in 天童、宮城日帰りの旅、ぎょうぎの皮でミニピザ作り、秋保日帰り旅行、かぼちゃの団子作り、そば打ち体験、ミルク餅作り

4 関係機関との連携・協力

- (1) 福島県避難者支援課駐在員（随時）
(2) 山形県復興・避難者支援室（随時）
(3) 市危機管理室（月1～2回）
(4) 市生活自立支援センター（随時）
(5) 市地域包括支援センター（随時）
(6) ボランティア団体（随時）

3 共同募金活動

(1) 一般募金・歳末たすけあい運動への協力

社会福祉法人山形県共同募金会天童市共同募金委員会として積極的な共同募金運動を展開し、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。

1 一般募金

- (1) 募金額 8,699,733円（昨年度8,610,921円）
(2) 募金件数 18,341件（昨年度18,347件）

2 歳末たすけあい運動

- (1) 募金額 4,970,217円（昨年度4,954,800円）
(2) 募金件数 16,172件（昨年度16,160件）
(3) 歳末たすけあい色紙頒布会

ア 共催 宝樹社

イ 会場・期日

(ア) 市美術館ロビー 12月5日から11日

(イ) 市役所1階市民ロビー 12月13日から19日

ウ 作品数 29点（昨年度34点）

(ア) 色紙 20点

(イ) ハガキ 4点

(ウ) 短冊 5点

(エ) 募金額（歳末たすけあい運動募金額に含む） 93,750円（昨年度78,200円）

3 義援金 112,169円 12件（昨年度10,000円 2件）

- (1) 平成30年7月豪雨災害義援金 76,412円 7件
(2) 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金 30,757円 4件
(3) 平成30年大阪府北部地震義援金 5,000円 1件

(2) 歳末たすけあい運動の配分

歳末たすけあい配分委員会担当者会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適正な配分のあり方等を検討し、各地域の配分対象基準の平準化や適正配分を実施いたしました。

- | |
|---|
| 1 歳末たすけあい運動配分 |
| (1) 配分額 4,970,217円 (昨年度4,954,800円) |
| (2) 配分件数 779件 (昨年度871件) |
| 2 歳末たすけあい配分委員会担当者会議期日 10月2日 |
| 3 歳末たすけあい配分委員会 |
| (1) 日程 12月5日から7日 |
| (2) 開催回数 13地域毎に開催 |
| 4 歳末たすけあい配分委員会委員 |
| 地域社会福祉協議会、市民生委員・児童委員、町内会、市福祉推進連絡会、市連合婦人会、小学校、中学校、市立公民館他 |

(3) 地域福祉活動推進プロジェクトへの対応

県共同募金会が「テーマ型募金」公開審査会を開催しましたが、市関連の申請団体がありませんでした。

- | |
|-------------------------|
| 1 「テーマ型募金」公開審査会期日 7月31日 |
| 2 参加申請団体 5団体 (県全体) |

4 天童市地域包括支援センター中央の運営

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人や家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連携を図り、ワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

※相談件数は、延件数です。

- | |
|--|
| 1 相談件数 1,744件 (昨年度1,558件) |
| (1) 介護保険関係、ケアマネ紹介及び申請代行 684件 (昨年度593件) |
| (2) 医療との連携及び退院支援について 173件 (昨年度173件) |
| (3) 困難事例 (ア～ク) 495件 (昨年度452件) |
| ア 認知症高齢者世帯 108件 (昨年度164件) |
| イ 精神・知的・身体障害者等家族世帯 170件 (昨年度144件) |
| ウ 経済的困難 104件 (昨年度48件) |
| エ 家族・親戚からの支援困難 35件 (昨年度5件) |
| オ 支援受入拒否 49件 (昨年度82件) |
| カ 地域からの孤立 7件 (昨年度4件) |

- キ 家族の介護不足 21件 (昨年度5件)
- ク 利用できる施設不足 1件 (昨年度0件)
- (4) 虐待 56件 (昨年度26件)
- (5) 虐待の可能性 26件 (昨年度12件)
- (6) 成年後見制度の活用、財産及び遺言関係 21件 (昨年度60件)
- (7) 消費者被害 0件 (昨年度6件)
- (8) その他 289件 (昨年度236件)
- 2 受付形態別件数 1,104件 (昨年度986件)
 - (1) 電話 603件 (昨年度518件)
 - (2) 訪問 256件 (昨年度231件)
 - (3) 来所 239件 (昨年度237件)
 - (4) 会議 6件 (昨年度0件)

イ 在宅介護支援センターとの連携

地域の相談窓口の一つである在宅介護支援センターと連携しながら、情報共有及び同行訪問等により、地域の高齢者世帯に対して相談支援を行いました。

市在宅介護支援センター

- (1) 清幸園
- (2) ラ・フォーレ天童
- (3) あこがれ

ウ 地域におけるネットワークの構築

地域社会福祉協議会の研修会及び民生委員・児童委員定例会への参加等、地域における関係者との連携強化を図り、地域の高齢者の見守り活動に係る意識啓発に努めました。なお、高齢者のニーズや生活実態調査を目的にアンケート調査を行いました。

- 1 市在宅介護支援センター連絡会 (月1回) への参加
- 2 グループホーム等運営推進会議 (4ヶ所2ヶ月1回) への参加
- 3 地域密着型特別養護老人ホーム運営推進会議 (3ヶ所2ヶ月1回) への参加
- 4 アンケート調査
 - (1) 質問事項 買い物手段について
 - (2) 調査場所 いきいきサロン、地域カフェ等
 - (3) 調査人数 91名
 - (4) 調査結果
 - ア 買い物手段について (複数回答)
 - (ア) 自分で運転 50名
 - (イ) 徒歩 18名
 - (ウ) 自転車 15名
 - イ 必要と考える買い物の仕組みについて
 - (ア) 配達 21名
 - (イ) 移動販売 18名

(ウ) 送迎 11名

(エ) 未回答 41名

エ 包括支援センターニュース発行の充実

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に、市民生委員・児童委員、市福祉推進員、関係機関（行政、交番、駐在所、医療機関）、公共機関（行政窓口、公民館等）及び介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

天童市地域包括支援センターニュース

(1) 配布先 市民生委員・児童委員や市福祉推進員、関係機関等 約500部

(2) 内容

ア 33号（7月発行）

さわやか健康教室の予定や脱水と脳梗塞、消費者トラブル情報

イ 34号（11月発行）

さわやか健康教室活動報告や感染症、災害への備え

ウ 35号（3月発行）

介護のはじまり確認やがんばりすぎない介護生活、消費者トラブル情報

オ 地域支援事業申請に係わる支援及び調査等の代行業務

在宅介護や住み慣れた地域での高齢者の生活を支えることを目的に、福祉サービスの相談や申請代行、利用者調査、不在時の安否確認等を行いました。

1 乳酸飲料サービス事業

2 見守り配食事業

3 紙おむつ支給事業

4 軽度生活援助事業

5 緊急通報体制等整備事業

(2) 包括的・継続的マネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、包括的・継続的なケア体制を実施するため、医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の介護支援専門員、介護サービス事業者等の連携及び質の向上のための支援を行いました。

ア 地域ケア会議の開催

個別の検討を中心としたケア会議を開催しました。

地域ケア会議等の開催回数 1回（昨年度2回）

イ 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、学習会や市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議を開催しました。

主任介護支援専門員会議 8回 139名

- (1) 5月16日
 - ア 内容 スーパービジョンの理解と実践力
 - イ 参加者 17名
- (2) 6月13日
 - ア 内容 障がい者制度から介護保険制度へ
 - イ 参加者 21名
- (3) 7月18日
 - ア 内容 活動と参加に焦点をあてたリハビリテーション
 - イ 参加者 17名
- (4) 9月7日
 - ア 内容 災害時のケアマネジャーの取り組みについて
 - イ 参加者 15名
- (5) 10月12日
 - ア 内容 家族への支援についてのケアマネジメントについて
 - イ 参加者 14名
- (6) 11月27日
 - ア 内容 高次脳機能障害の理解について
 - イ 参加者 19名
- (7) 12月21日
 - ア 内容 人を育てるコーチングスキルについて
 - イ 参加者 18名
- (8) 3月28日
 - ア 内容 事業所経営に必要な視点について
 - イ 参加者 18名

ウ 介護支援専門員連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会を開催しました。

介護支援専門員連絡会 7回 301名

- (1) 6月8日
 - ア 内容 介護報酬・診療報酬同時改定のポイント
 - イ 参加者 49名
- (2) 9月12日
 - ア 内容 病院とケアマネジャーの連携～医療連携に携わるソーシャルワーカー（社会福祉士）の立場から～
 - イ 参加者 47名
- (3) 10月30日
 - ア 内容 介護予防に向けた自立支援型ケアプラン作成とは
 - イ 参加者 45名
- (4) 12月18日
 - ア 内容 事例検討会

- イ 参加者 40名
- (5) 2月19日
- ア 内容 ケアマネジャーがバーンアウトしないための心のケア
- イ 参加者 48名
- ※ 介護サービス事業所連絡会と天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会時にも合同開催

エ 介護サービス事業所連絡会の開催

介護支援専門員と介護サービス事業所との連携の強化を目的に、介護サービス事業所連絡会を開催しました。

介護サービス事業所連絡会

- (1) 期日 4月17日
- (2) 内容
 - ア 介護予防・日常生活支援総合事業について
 - イ 高齢者生活支援事業について
 - ウ 新規事業所紹介
- (3) 参加者 101名
 - ア 介護支援専門員 39名
 - イ 介護サービス事業所職員 48名
 - ウ 市地域包括支援センター 14名

オ 医師と介護の連携

医療と介護の連携強化を目的に、市と天童市東村山郡医師会との合同研修会を開催しました。また、在宅医療を希望する方の相談窓口として、天童市東村山郡医師会と連携を行いました。

1 天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会

- (1) 期日 11月21日
- (2) 内容
 - ア 在宅医療・介護連携「エール」の申し込み状況
 - イ わが町のこれからの在宅医療・介護連携を考える
- (3) 参加者 148名
 - ア 介護支援専門員 33名
 - イ サービス事業所 47名
 - ウ 天童市東村山郡医師会 28名
 - エ 行政 13名
 - オ 市地域包括支援センター 14名
 - カ その他 13名

2 在宅医療・介護連携室「エール」との連携

- 件数 6件
 - ア 医療 1件
 - イ 歯科 5件

カ 地域包括支援センター間の連絡調整

市地域包括支援センター間の活動報告や困難事例等の情報共有を行い、差異のない支援ができるように努めました。

市地域包括支援センター合同ミーティング

(1) 回数 月1回

(2) 参加者

ア 市保険給付課

イ 市地域包括支援センター中央

ウ 市地域包括支援センターめいこうえん

(3) 権利擁護事業

高齢者が様々な困難を抱えても、住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持し、安心して暮らすことができるよう、市や近隣住民、市民生委員・児童委員、介護支援専門員等の連携を図り、専門的・継続的な支援を行いました。また、エンディングノートを発行し、将来の備えのための意識啓発に努めました。

ア 消費者被害の防止対策の推進

1 天童市地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回）

2 市消費生活センターとの連携（随時）

イ 成年後見センター事業・福祉サービス利用援助事業の周知及び利用支援

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。精神や知的、認知症等の家族、身寄りのいない一人暮らしの方の相談対応を行いました。

成年後見制度申立支援件数 0件（昨年度3件）

ウ 虐待通報への対応

虐待の疑いのある相談内容を行政担当者に連絡するとともに、対応について協議をし、一時的な分離などの緊急対応を行いました。また、虐待等の通報の受付や内容の確認、実態把握の迅速化、養護者の支援のため他機関との連携を行いました。

虐待通報件数 延56件（昨年度延26件）

(4) 認知症施策の推進

市の委託を受けた認知症地域支援推進員が、権利侵害を受けやすい認知症高齢者対策として、認知症についての住民理解の促進に努めました。また、医療機関や地域の支援機関と連携を図り、認知症の人が住み慣れた環境で安心して暮らし続けることができるよう支援しました。

ア 認知症サポーター養成講座

認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症サポーター養成講

座を開催し、認知症に対する意識啓発に努めました。

認知症サポーター養成講座 6回 358名

(1) 5月9日

ア 場所 市総合福祉センター

イ 対象 天童中部地域福祉推進員

ウ 参加者 53名

(2) 10月1日

ア 場所 老人保養センター「かまた荘」

イ 対象 老人保養センター「かまた荘」及び市民いこいの家「ふれあい荘」
スタッフ

ウ 参加者 22名

(3) 11月29日

ア 場所 市立第二中学校

イ 対象 市立第二中学校2年生

ウ 参加者 121名

(4) 12月4日

ア 場所 市立第四中学校

イ 対象 市立第四中学校2年生

ウ 参加者 122名

(5) 1月17日

ア 場所 市立津山公民館

イ 対象 津山地域住民

ウ 参加者 16名

(6) 2月7日

ア 場所 市立成生公民館

イ 対象 成生地域住民

ウ 参加者 24名

イ 認知症地域支援推進員の配置

市及び市地域包括支援センターめいこうえんに配置されている市地域支援推進員と定期的に会議を開催し、認知症の方が安心して過ごせる地域づくりの検討を行いました。

ウ 認知症初期集中支援チームとの連携

月1回、認知症初期集中支援チーム会議に参加し、認知症高齢者が適切な医療や介護サービス利用につながるよう、検討及び支援を行いました。

エ 認知症カフェの運営協力

認知症に係るすべての方を対象に認知症の不安や相談等を気軽にできる場及び情報交換の場として、市が毎週水曜日に開催している「あったかフェテんどう」の運営協力支援に努めました。

オ 認知症事前登録申請・調査代行

認知症等により、徘徊、または徘徊するおそれのある高齢者及びその家族を支援することを目的とした認知症事前登録事業への協力支援及び広報活動に努めました。

市地域包括支援センター中央エリア登録者数 68名（昨年度96名）

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

65歳以上の方々を対象に、その置かれている環境や心身の状況に応じて、必要性に合わせた多様なサービスが提供されるように努めました。

介護予防ケアマネジメント

要支援に認定された方及び基本チェックリストで総合事業対象者に判定された方を対象として自立支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメント（ケアプラン作成）を行いました。

- 1 介護予防ケアマネジメントA（現行型）
件数 1,867件（昨年度1,682件）
 - ア 本会 1,539件（昨年度1,499件）
 - イ 委託 328件（委託183件）

※ 現行型は通所介護及び訪問介護のみ利用
- 2 介護予防ケアマネジメントA（通所サービスC・委託） 12件
※ 通所サービスCは通所介護事業所及びラ・フォーレ天童のぞみで実施
- 3 介護予防ケアマネジメントA（コツコツ貯筋運動教室） 70件（昨年度72件）
- 4 介護予防ケアマネジメントB
 - (1) 元気ゆー湯温泉教室 25件（昨年度30件）
 - (2) あっぱれ元気教室及びショッピングリハビリ 26件

※ コツコツ貯筋運動教室及び元気ゆー湯温泉教室は、ラ・フォーレ天童のぞみで実施しています。

※ あっぱれ元気教室は市内接骨院、ショッピングリハビリは通所事業所連絡会で実施しており、平成30年10月より事業を開始しています。
- 5 一般介護予防事業
一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し、さわやか健康教室を開催しました。
 - (1) 回数 10回（昨年度10回）
 - (2) 参加者 250名（昨年度285名）
 - (3) 内容
 - ア 音楽で心にエネルギーを
 - イ ヨガで心と身体も美しく
 - ウ もしものときのために！災害への備え
 - エ 認知症になっても安心して暮らしたい～知って得する社会制度～
 - オ 誰でも簡単に認知症予防！自分でできるストレッチ
 - カ 火を使わず簡単調理～骨粗鬆症予防～
 - キ 健康寿命はお口から～健口体操で健康に～

ク 毎日の習慣に！笑顔で楽しくながら運動
ケ 脳とカラダの若返り体操
コ 心の健康～ストレスを溜めないヒント～

(6) 指定予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサービス利用のためのケアプラン作成を行いました。

ア 給付管理の適正化

要支援1・2の認定を受けた方や家族と相談しながら、自立に向けた目標を設定し、適切な介護予防プランの作成・評価に努めました。

イ 業務委託環境の整備

要支援1・2の認定を受けた方の心身の状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方については、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

予防プランに伴う請求件数 1, 539件 (昨年度1, 597件)
(1) 本会 948件 (昨年度1, 019件)
(2) 委託 591件 (昨年度578件)

(7) 在宅高齢者訪問指導事業(すこやか訪問)

市からの委託を受けて、介護保険の認定を受けていない75歳以上の単身高齢者世帯を対象に生活習慣予防や閉じこもり予防、寝たきり予防等について、訪問等により、健康状態や生活の様子などを確認し、必要時には市の高齢者生活支援事業等の紹介を行いました。

対象者数 50名

(8) 実習生の受入れ

将来、医療・福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、市地域包括支援センターの業務に対する理解と人材育成を目的として受け入れを行いました。

1 山形大学医学部看護学科実習生 2名
2 県立保健医療大学保健医療学部看護学科実習生 2名

5 介護サービス事業所の運営

(1) 天童市居宅介護支援事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業の実施

法令の定めに基づき、要介護者や要支援者のケアプラン作成における適切な件数

を遵守し、特定居宅介護支援事業所の指定の維持を図り、質の高い支援の提供と業務管理体制の整備に努めました。

※作成件数は、月の作成数の合計です。

作成件数	1, 157件 (昨年度1, 149件)
(1) 居宅介護支援	1, 008件 (昨年度1, 003件)
(2) 予防介護支援・総合事業	149件 (昨年度146件)

イ 介護保険に関する各機関との連絡調整及び手続代行

病院からの退院や施設から退所されて在宅に戻る利用者に対して、在宅生活に必要な環境の整備や相談体制により円滑な移行を目指し、市地域包括支援センターをはじめとする関係機関との連携強化、各種研修会に参加し、利用者へのより良い支援に努めました。

1 事業所内会議の実施	週1回
2 打合わせ	全日
3 研修会への参加	20回 (昨年度21回)

ウ 要介護認定調査事業

介護認定の円滑な更新を目指し、担当する利用者の認定更新申請代行を適切に行うとともに、利用者本人の状況を正確に反映する認定調査に努めました。

1 市内	109件 (昨年度84件)
2 市外	4件 (昨年度2件)

エ 実習生の受入れ

介護支援専門員実務研修受講者にケアマネジメントの実践現場や要介護者の生活の実態を知る事を目的として、実習受け入れを行い指導に努めました。

1 実習生	1名
2 実習期間	3日間

(2) 天童市訪問介護サービス事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標に近づけるようなサービス提供を目指しました。また、今年度は特定事業所の指定を受け、指定の維持を図るために月1回の会議を行い、利用者の情報の共有を図ると共に提供する介護サービスの質の向上に努めました。なお、県による介護保険施設等実地指導により、適切な事業所運営に努めました。

※利用者件数は、月の利用者の合計数です。

1 利用者件数	647件 (昨年度455件)
(1) 要支援・総合事業	168件 (昨年度158件)
(2) 要介護	479件 (昨年度297件)
2 介護保険施設等実地指導	8月28日

イ 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業、同行援護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者毎のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を行いました。また今年度は特定事業所の指定を受けたため、提供するサービスの質の向上に努めました。なお、県による指定障がい福祉サービス事業者等実地指導により、適切な事業所運営に努めました。

- | | | | |
|---|---------------------|-------|-----------|
| 1 | 利用者件数 | 405件 | (昨年度310件) |
| 2 | 実契約数 | 46件 | (昨年度34件) |
| 3 | 指定障がい福祉サービス事業者等実地指導 | 8月28日 | |

ウ 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

市からの委託事業として屋外移動に支障がある障がいを持つ方を対象に、地域活動や社会参加のための外出援助を行いました。

- | | | | |
|---|-------|-----|----------|
| 1 | 利用者件数 | 29件 | (昨年度25件) |
| 2 | 実契約数 | 4件 | (昨年度3件) |

エ エンゼルサポーター派遣事業の実施

市からの委託事業として、双子以上を養育している保護者に対し、安心して子供を産み育てられる支援を行いました。

- | | | | |
|---|-------|-----|----------|
| 1 | 利用者件数 | 7件 | (昨年度3件) |
| 2 | 実契約数 | 2世帯 | (昨年度2世帯) |

オ まごころ支援事業(自主事業)の実施

介護保険、障害福祉サービス事業等にも該当しない方々に対して、本会の自主事業を利用することによって、安心して在宅生活が続けられる支援に努めました。

- | | | | |
|---|-------|-----|----------|
| 1 | 利用者件数 | 49件 | (昨年度49件) |
| 2 | 実契約数 | 9件 | (昨年度5件) |

カ 養育支援訪問事業の実施

市からの委託事業として、保護者に対して安心して養育できるよう育児、家事援助の支援を行いました。

- | | | | |
|---|-------|-----|----------|
| 1 | 利用者件数 | 13件 | (昨年度13件) |
| 2 | 実契約数 | 3件 | (昨年度2件) |

キ 山形市への事業拡大

事業実施地域を山形市へ拡大し、介護保険及び障がい福祉サービスの提供を行いました。

- | | | | |
|---|-------|-----|---------------|
| 1 | 利用者件数 | 81件 | (昨年度(3ヶ月間)5件) |
| 2 | 実契約数 | 8件 | (昨年度(3ヶ月間)2件) |

ク 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

県立天童高等学校

- (1) 前期実習生（3年生） 7名（昨年度13名）
- (2) 後期実習生（2年生） 20名（昨年度7名）

6 受託施設等の管理・経営

天童市総合福祉センターの管理・経営

(1) 福祉関連の事業、団体を優先した貸出実施

福祉関係団体については2ヶ月前、福祉関係以外の団体については1ヶ月前から予約を開始し、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に安全に安心して、利用いただけるよう効率的な貸し出しに努めました。

- 1 利用団体数 3, 398団体（昨年度3, 498団体）
 - (1) 市関係 500団体（昨年度452団体）
 - (2) 福祉関係 2, 372団体（昨年度2, 457団体）
 - (3) その他 526団体（昨年度589団体）
- 2 利用人数 48, 719人（昨年度49, 823人）
 - (1) 市関係 9, 966人（昨年度8, 457人）
 - (2) 福祉関係 27, 710人（昨年度30, 174人）
 - (3) その他 11, 043人（昨年度11, 192人）

※天童市総合福祉センターの利用状況の詳細は別表1に記載

(2) 抽選による受付実施

毎月の予約開始日に予約抽選会を開催し、平等な受付に努めました。

- 1 抽選日
毎月1日（1日が土・日・祝日の場合は、次の平日となり、1月のみ5日とし、1月5日が土・日・祝日の場合は、次の平日）の午前9時
- 2 抽選会参加団体 約20団体

(3) 日常点検及び定期的なメンテナンス等による施設の良い環境整備

消火訓練等を行い防火体制の強化に努めました。また、毎朝の総合的な施設・設備の点検や月1回の定期清掃、各設備等の定期点検を行い、故障箇所等の早期発見や修繕等の迅速な対応に努めました。

- 1 総合消防訓練等
 - (1) 4月16日

- (2) 10月15日
- 2 防火体制 防火対象物点検報告特例認定（7月28日から3年間）
- 3 修繕箇所
 - (1) 屋内運動広場ステージランプ取替
 - (2) 3階男子トイレ手洗水栓交換
 - (3) 2階調理実習室冷温水配管漏水修繕
 - (4) 冷却塔ファンモータ修理
 - (5) 冷温水発生機オイルポンプ取替等
- 4 定期清掃
 - (1) 内容 全館のワックス塗布
 - (2) 回数 月1回

(4) 同好クラブ事業の内容充実

同好クラブを運営し、趣味を通して高齢者の健康維持や仲間づくりに努めました。

ア 囲碁クラブ

- 1 開催回数 週2回
- 2 参加者数 約50名

イ コスモスダンスクラブ

- 1 開催回数 週1回
- 2 参加者数 約15名

ウ 手芸クラブ

- 1 開催回数 月1回
- 2 参加者数 約15名

エ 俳句クラブ

- 1 開催回数 月1回
- 2 参加者数 約15名

オ 将棋クラブ

- 1 開催回数 週1回
- 2 参加者数 約15名

カ 民踊クラブ

- 1 開催回数 月2回
- 2 参加者数 約10名

(5) 備品貸出事業の実施

無料で備品の貸出しを行い、地域福祉や地域活動の振興等に努めました。

ア 車イス

貸出回数 54回（昨年度22回）

イ 輪投げ

貸出回数 11回（昨年度14回）

ウ 外用いす及びテーブル

貸出回数 11回（昨年度11回）

エ グラウンドゴルフ用具

貸出回数 13回（昨年度16回）

オ 集会用テント等

貸出回数 5回（昨年度7回）

(6) 効果的な経費の削減

電気や冷暖房等の調整を行い経費の節減に努めました。

7 法人組織の管理・運営

(1) 理事会及び評議員会等の開催

定期的な理事会、評議員会を実施しながら、経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に努めました。

また、評議員を選任するための組織である評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

1 理事会 3回（昨年度4回）

(1) 6月7日

(2) 9月19日

(3) 3月15日

2 評議員会 3回（昨年度3回）

(1) 6月25日

(2) 9月26日

(3) 3月26日

3 評議員選任・解任委員会 6月13日 1回（昨年度1回）

4 会長・副会長・監事会議 3回（昨年度3回）

(1) 5月28日

(2) 9月10日

(3) 3月4日

(2) 監事による監査の実施

監事による業務執行及び財産の状況の監査により、適正な法人運営に努めました。

決算監査 5月21日

(3) 苦情解決の推進

苦情解決の推進のため第三者委員を委嘱し、組織体制の整備を図りながら、利用者の権利を擁護するとともに提供するサービスの向上に努めました。

苦情の件数 0件（昨年度0件）

(4) 職員の資質向上のため、各種研修会への参加

外部で開催される研修会等への積極的な参加により、職員の資質向上に努めました。また、独自に研修会を開催し、専門的な知識や技能等を高めました。

1 内部研修会等 21回 484名（昨年度8回232名）

(1) 消火訓練等

ア 消火訓練

(ア) 期日 4月16日

(イ) 講師 浅野防災山形

(ウ) 参加者 30名

イ 消防総合防災訓練

(ア) 期日 10月15日

(イ) 講師 市消防本部等

(ウ) 参加者 35名

(2) 新任職員研修

ア 期日 4月23日

イ 講師 本会職員

ウ 参加者 3名

(3) 健康講話

ア 期日 5月7日・8日

イ 講師 鞍掛彰秀産業医

ウ 参加者 計37名

(4) 防災無線使用方法について

ア 期日 5月18日

イ 講師 市危機管理室

ウ 参加者 25名

(5) 交通安全研修マイカー点検教室

ア 期日 7月5日

イ 講師 整備振興会天童市部会員整備士

ウ 参加者 8名

(6) 健康料理教室

ア 期日 8月2日・17日

イ 講師 市健康課栄養士

ウ 参加者 32名

(7) 事務研修（決算関係）

ア 期日 8月2日・17日

イ 講師 本会職員

ウ 参加者 13名

(8) 介護サービス係研修会（精神障がい者関係）

ア 期日 11月29日

イ 講師 秋野病院地域連携室医療相談係木川真也精神保健福祉士

ウ 参加者 22名

(9) 一般応急手当講習会

ア 期日 2月12日・13日

イ 講師 市消防本部

ウ 参加者 51名

(10) 訪問介護サービス事業所会議

ア 回数 12回（月1回）

イ 参加者 228名

2 外部研修会等

(1) 開催回数 292回（昨年度125回）

(2) 参加職員 551名（昨年度248名）

< 別表1 >

平成30年度天童市総合福祉センター利用状況

平成30年4月～平成31年3月

区分 月別	利用団体数(単位:団体)				利用人数(単位:人)			
	市関係	福祉関係	その他	合計	市関係	福祉関係	その他	合計
4	30	202	38	270	824	2,421	781	4,026
5	36	214	43	293	436	2,346	828	3,610
6	38	188	44	270	426	1,875	843	3,144
7	41	204	43	288	591	2,041	1,235	3,867
8	35	175	34	244	400	1,648	690	2,738
9	64	188	64	316	1,402	1,997	1,233	4,632
10	57	186	35	278	1,305	3,571	632	5,508
11	75	203	40	318	2,092	2,349	796	5,237
12	24	199	44	267	573	2,375	966	3,914
1	29	186	44	259	528	1,953	962	3,443
2	33	219	52	304	654	2,686	1,071	4,411
3	38	208	45	291	735	2,448	1,006	4,189
合計	500	2,372	526	3,398	9,966	27,710	11,043	48,719
平成29年度	452	2,457	589	3,498	8,457	30,174	11,192	49,823
前年度比	48	△ 85	△ 63	△ 100	1,509	△ 2,464	△ 149	△ 1,104